

経営状況の概要（平成26年度）

1 団体概要

団体名	公益財団法人郡山市観光交流振興公社	設立年月日	平成1年7月18日
所在地	郡山市安積町成田字東丸山61番地	設立根拠	一般法人法第163条 公益法人認定法第4条
資本金(基本金)等	90,000 千円	市出資(出捐)金	90,000 千円
事業内容	◎公益目的事業 (1)地域の振興に関する事業 (2)観光の振興に関する事業 (3)スポーツの振興に関する事業 (4)畜産の振興に関する事業 (5)都市緑化の振興に関する事業 (6)児童・青少年の健全な育成に関する事業 (7)その他公益目的を達成するために必要な事業 ◎その他の事業 (1)畜産加工品の製造及び販売に関する事業 (2)公園緑地内の食堂及び売店に関する事業 (3)その他公益目的事業の推進に資する事業		
ウェブサイトアドレス	http://www.koriyama-kankoukouryu.jp/		

2 財務状況

(単位:千円)

	項目	平成24年度	平成25年度	平成26年度
貸借対照表	総資産	428,811	383,160	312,110
	負債	172,203	128,764	51,813
	(うち有利子負債)	(0)	(0)	(0)
	資本	256,608	254,396	260,297
	累積欠損金	0	0	0
損益計算書	総収入(売上高+営業外収益+特別利益)	923,550	945,743	651,762
	経常収支差額	△ 1,291	△ 1,646	4,913
	当期損益	△ 4,371	△ 2,213	5,901
	減価償却前当期損益	5,649	4,360	13,247

3 役職員の状況

役員数	11	市からの出向者・退職者	2	職員数※	22	市からの出向者・退職者※	0
役員平均年齢	59.1	常勤役員平均年収(千円)※	4,679	職員平均年齢※	45.5	職員の平均年収(千円)※	6,192
		非常勤役員平均年収(千円)※	13	人件費(千円)	243,493	収入合計人件費率(%)	37.4

※は報酬を支給する役員分のみ記載
※は正規職員分のみ記載（人件費、収入合計人件費率は全職員対象）

4 団体への市関与の状況

(1) 公的支援

(単位:千円)

項目	平成24年度	平成25年度	平成26年度	備考(目的、内容、算出根拠等)
① 補助金(助成金)	88,700	78,716	87,271	法人管理費補助、畜産調査研究事業費補助
② 利子補給金	0	0	0	
③ 税の減免額	0	0	0	
④ その他()	0	0	0	
小計	88,700	78,716	87,271	
⑤ 損失補償契約に伴う金利軽減額	0	0	0	
⑥ 出資金、低利貸付等に伴う機会費用	0	0	0	
小計	0	0	0	
合計	88,700	78,716	87,271	

(参考) 委託料(市支出)	418,175	453,418	345,167	郡山カルチャーパーク等3施設分指定管理料、観光案内所委託料
(参考) 市への収入依存度(%)	54.9	56.3	66.3	

(2) その他

(単位:千円)

項目	平成24年度	平成25年度	平成26年度	備考(目的、内容、算出根拠等)
① 損失補償契約に係る債務残高	0	0	0	
(将来負担額)	(0)	(0)	(0)	
(将来負担算入率)	(0)	(0)	(0)	
② 貸付金残高	0	0	0	
③ 出資金	90,000	90,000	90,000	
合計	90,000	90,000	90,000	

5 監査等の結果

※内部監査、外部監査、行政庁検査等

監査等種類	①内部監査(監事)	②財務会計指導業務(税理士)	③
実施時期	平成27年5月21日	平成26年5月14日、平成26年12月16日	
指摘・意見	郵便切手受払簿に所属長の確認印が必要ではないか	特になし	
対応状況	所属長の確認印欄を加えた様式に改めた	—	

6 経営改善の取組状況及び自己評価

JRグループと自治体及び地元観光関係者が連携し実施した「ふくしまステイションキャンペーン」では、郡山市観光案内所運営により、多くの利用者に対して「おもてなし」による観光案内を実施した。その結果、観光案内所の利用件数は前年度比約23%増加した。また、指定管理事業においても、地域や関係団体と積極的に連携しながら、主に親子向けイベント等の各種事業を実施するなど、管理施設全体の利用者数は前年度比約10.9%増加したところである。

当社は平成26年度から指定管理施設の減少により事業規模が縮小したが、そのような中でも、郡山市の観光振興に一定の役割を果たせたものと考えている。

経費面においては、引き続き季節雇用やローテーション勤務の活用により人件費の抑制を図ったほか、クールビズ・ウォームビズなどの取り組みなどにより経費削減に努めた。

7 市の評価

「ふくしまステイションキャンペーン」では、観光案内所運営による総合窓口としての役割を果たし、観光客のおもてなしに努めたほか、指定管理施設においては、地域や関係団体と事業を多数展開し、各施設の利用者数の増加が図られたことは評価できる。

財務状況については、指定管理施設の減少に伴う事業規模縮小、利用料金収入等の自主財源の減少など厳しい中、経費削減や民間の補助金の活用などの財源確保に努めるなど、経営の安定化への取組みが認められる。

今後も、施設間はもとより地域や関係団体とも連携を取りながら、市民のニーズにあった魅力ある事業の実施、さらなる維持管理及び事業実施の際の経費削減、新たな収入の確保(補助等)などを行い、交流人口の更なる増加に努めるよう期待する。